

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市生涯学習センター
条例上の設置目的	千葉市生涯学習センター設置管理条例（平成12年千葉市条例66号） 第1条 本市は、市民の生涯学習及び交流の場を提供するとともに、生涯学習活動を総合的に支援し、本市における生涯学習の振興を図るための中核的施設として、千葉市生涯学習センターを設置する。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	生涯学習センターは、本市の生涯学習ネットワークの拠点となる中核的施設として、市民の主体的で創造的な学習活動を支援する上で、関係機関との連携を強化するとともに、調査研究機能や学習プログラムの充実、学習情報の提供及び相談体制の整備や充実など、生涯学習を総合的に推進していく事業を展開することが期待されている。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	（1）資料・情報の提供を総合的に行い、多様なニーズに対応する。 （2）様々な学習相談に応じ、学習活動の活性化を図る。 （3）調査・研究に対する多角的な支援を行い、高度で専門的なニーズに対応する。 （4）生涯学習活動のための調査及び研究・開発を行う。 （5）自主的・自発的な学習活動を支援する。 （6）他の機関・施設等と連携・協力して生涯学習を推進する。
制度導入により見込まれる効果	市民の主体的で創造的な学習活動を支援する上で、関係機関との連携を強化するとともに、調査研究機能や学習プログラムの充実、学習情報の提供及び相談体制の整備や充実など、生涯学習を総合的に推進していく効果を見込んでいる。
成果指標※	① 市民生活や地域社会の課題を「学ぶ」機会を提供する ② 学習成果が「生きる」地域づくりを進める ③ 学びを「支える」環境づくりを進める
数値目標※	① 延べ受講者数 35,000人 （指定管理事業+自主事業（どちらも展示を除く）） ② ボランティアコーディネート件数 285件 ③ 施設稼働率 60%
所管課	千葉市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市教育振興財団
構成団体 （共同事業体の場合）	
主たる事業所の所在地 （代表団体）	千葉県千葉市中央区弁天3丁目7-7
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
選定方法	非公募
非公募理由	施設や外郭団体の有する特性並びに担うべき役割など、次の点を踏まえ、非公募としました。 （1）生涯学習に関する講座は無料としているため、収益性が見込まれないこと （2）生涯学習センターが提供する講座等は、「地域の課題に自ら取り組むことができる人材の育成」を目的とし、個人の趣味の範囲を超えた社会的ニーズ等に対応するものであるため、高度の専門性及びボランティアや各種団体等との豊富なネットワークが必要であること （3）公民館の指定管理者制度導入にあたっては、本市における生涯学習活動の中核施設である生涯学習センターと、地域拠点施設である公民館との連携・協力体制を構築することで、更に充実した学習機会・環境を提供できること
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	R4年度実績	達成率※
市民生活や地域社会の課題を「学ぶ」機会を提供する	延べ受講者数 36,000人(35,000人)	29,043人	80.7%(83.0%)
学習成果が「生きる」地域づくりを進める	ボランティアコーディネート件数 285件	439件	154.0%
学びを「支える」環境づくりを進める	施設稼働率 62%(60%)	55.3%	89.2%(92.2%)

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指標	R4年度実績
施設利用者数	180,852

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	R4年度	【参考】 R3年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
指定管理料	実績	563,713	561,001	実績－計画 0	
	計画	563,713	561,001	計画－提案 0	
	提案	563,713	561,221		
利用料金収入	実績	35,237	30,032	実績－計画 △ 4,963	諸室の稼働がコロナ禍前までは回復していない
	計画	40,200	40,000	計画－提案 0	
	提案	40,200	40,000		
その他収入	実績	1,387	701	実績－計画 △ 337	講座受講料の減
	計画	1,724	1,716	計画－提案 8	
	提案	1,716	1,716		
合計	実績	600,337	591,734	実績－計画 △ 5,300	
	計画	605,637	602,717	計画－提案 8	
	提案	605,629	602,937		

イ 支出

(単位：千円)

費目	R4年度	【参考】 R3年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
人件費	実績	156,031	154,659	実績－計画 △ 5,014	人事異動(4級→2級)による減
	計画	161,045	156,675	計画－提案 1,597	人員配置の変更(非常勤→嘱託)による増
	提案	159,448	156,115		
事務費	実績	39,777	36,416	実績－計画 △ 3,209	コロナ禍での講座中止等に伴う諸経費の減
	計画	42,986	40,468	計画－提案 △ 1,123	通信運搬費、消耗品費等の精査による減
	提案	44,109	44,109		
管理費	実績	149,030	142,041	実績－計画 16,204	光熱水費の増
	計画	132,826	149,924	計画－提案 △ 1,555	施設管理用消耗品の精査による減
	提案	134,381	135,134		
委託費	実績	262,683	261,051	実績－計画 △ 1,847	コロナ禍で講座中止に伴う減
	計画	264,530	251,140	計画－提案 16,454	設備保守委託仕様見直し(法定点検等の追加)による増
	提案	248,076	248,076		
その他事業費	実績	0	0	実績－計画 0	
	計画	0	0	計画－提案 0	
	提案	0	0		
間接費	実績	17,835	17,250	実績－計画 △ 145	
	計画	17,980	19,503	計画－提案 △ 1,635	一般管理費の精査による減
	提案	19,615	19,503		
合計	実績	625,356	611,417	実績－計画 5,989	
	計画	619,367	617,710	計画－提案 13,738	
	提案	605,629	602,937		

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

公益法人会計基準に則り6つに区分し、本部経費については、従事割合等の配賦基準により各会計に配賦計上。法人会計に配賦した費用から基本財産の運用益等の収益を差し引いた差額を、法人会計以外の5つの会計へ配賦した額の割合で按分し、法人会計の財源として一般管理費に計上する。

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	R4年度	【参考】 R3年度
自主事業収入	実績 414	400
その他収入	実績 1	3
合計	実績 415	403

イ 支出

(単位：千円)

費目	R4年度	【参考】 R3年度
人件費	実績 408	408
事務費	実績 2,932	2,233
管理費	実績	
委託費	実績	
使用料	実績	
事業費	実績	
利用料金	実績	
その他事業費	実績	
間接費	実績	
合計	実績 3,340	2,641

間接費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		R4年度	【参考】R3年度
必須業務	収入合計	600,337	591,734
	支出合計	625,356	611,417
	収支	△ 25,019	△ 19,683
自主事業	収入合計	415	403
	支出合計	3,340	2,641
	収支	△ 2,925	△ 2,238
総収入		600,752	592,137
総支出		628,696	614,058
収支		△ 27,944	△ 21,921
利益の還元額			
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
延べ受講者数 35,000人の達成	D	コロナ禍による影響(講座の中止、諸室の定員制限)
ボランティアコーディネート件数 285件	A	オンライン配信の活用(公民館－複数の福祉施設へ配信)
施設稼働率 60%の達成	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 -：対象外(市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
1	市民の平等利用の確保・施設の適正管理			
	市民の平等利用の確保	C	C	
	関係法令等の遵守			
	リスク管理・緊急時対応			
2	施設管理能力			
	(1) 人的組織体制の充実	C	C	・オンライン配信を円滑に行うため、OJTなどにより担当職員の能力向上を図った。
	管理運営の執行体制			
	必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
	(2) 施設の維持管理業務	C	C	
	施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
3	施設の効用の発揮			
	(1) 幅広い施設利用の確保	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・休館日は、条例では毎週月曜日と規定されているが、毎月第4月曜日のみを休館として、利便性を高めている。 ・Facebook等のSNSの更新頻度を高め、施設の周知や事業PRに努め利用促進を図った。 ・条例上の利用料金上限額を下回る金額を設定している。また、空き施設の利用促進のため、柔軟な料金体系を設定している。 ・ホールリハーサル割引 利用日1か月以内で練習利用する場合 ・直前割引 一部諸室を直前(当日～6日前)に申込み場合 ・夜間割引 一部諸室の夜間区分を直前(当日～6日前)に申込み場合
	開館時間・休館日			
	利用料金設定・減免			
	利用促進の方策			
	(2) 利用者サービスの充実	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・無線LANによるパソコンへのインターネット接続環境を整え、利用者の利便性を向上させている。 ・キャッシュレス決済の導入(R2.10) ・管理運営の基準では、利用者を対象としたアンケート等の実施を求めているが、それに加え、利用者懇談会や事業の第三者評価を実施し、事業運営への反映を行った。
	利用者への支援			
	利用者意見聴取・自己モニタリング			
	(3) 施設における事業の実施	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・現代的課題学習及び郷土に関する事業では新たに「平和教育」「千葉の自然を楽しむsmall planet見学ツアー」などを企画し、メディア学習事業では「公民館出前パソコン講座」を拡充するなど、多様化する市民ニーズに対応できるよう事業の充実に努めた。 ・自主事業では、公民館と連携したオンライン講座「文学講座」「歴史講座」を実施するなど、多様な学習機会の提供によりコロナ禍での生涯学習活動の推進を図った。
	施設の事業の効果的な実施			
	自主事業の効果的な実施			
4	その他			
	市内業者の育成	C	C	
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 千葉市教育委員会指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
18歳成人の消費者問題や発達障害に関する事等、現代的な課題学習について、取り入れていただきたい。	令和3年度	<p>現代的な課題学習として、消費者問題（成人対象）や発達障害に関する事をテーマに次の講座を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者問題に関するテーマ 「私もできるかな？iDeco・つみたてNISA入門セミナー」 2/23開催、延受講者153人、応募倍率197% ・発達障害に関するテーマ 「LDの子どもの理解と支援」 11/15～1/10開催（全3回）、延受講者48人、応募倍率146%
施設の冷暖房の設備や扇風機等の備品を活用して、利用者のサービス向上につなげていただきたい。	令和3年度	<p>冷暖房の空調切替え時期(4月中旬～5月初旬)は気温が高くなることも多いため、スポットクーラーや扇風機を研修室等に設置し、諸室利用者の利用環境の改善に努めた。また、冬季においては、急激な冷え込みに対応するため、ヒーターの貸出しを行った。</p>
コロナ禍の中、オンライン講座などの工夫で充実してきており、引き続き、そのメリットを活かしながら工夫して実施していただきたい。	令和3年度	<p>会場で講座やイベントに参加できない方を対象に、講座をライブ配信したり、コンサートなどボランティア団体の活動をアーカイブ配信したり、オンラインのメリットを活かした学習機会の提供に努めた。</p>

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	ア 受講者アンケート 【回答者数】 6,366件 講座・講演会等の受講者に対し、アンケート用紙を配付し、満足度を4段階で評価していただいた。																																																																																												
	回答者数	イ 利用者アンケート 【回答者数】 1,750件 研修室、会議室等の施設利用者に対し、利用報告書にアンケート欄を設け次の項目について5段階で評価していただいた。①施設の学習環境について ②施設・備品について ③職員の対応について																																																																																												
結果	質問項目																																																																																													
		<p>ア 受講者アンケート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満</th> <th>不満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ちばカレッジ</td> <td>62.4%</td> <td>32.0%</td> <td>5.0%</td> <td>0.6%</td> </tr> <tr> <td>現代的課題学習</td> <td>85.2%</td> <td>14.5%</td> <td>0.2%</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>郷土に関する事業</td> <td>81.3%</td> <td>15.1%</td> <td>3.5%</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>指導者養成</td> <td>66.1%</td> <td>30.4%</td> <td>2.5%</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>学習ボランティア活動の支援</td> <td>74.9%</td> <td>23.3%</td> <td>1.6%</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>メディア学習講座</td> <td>77.8%</td> <td>19.9%</td> <td>2.1%</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>視聴覚事業(映画上映会等)</td> <td>70.0%</td> <td>30.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>市民の学習活動への支援</td> <td>77.2%</td> <td>22.4%</td> <td>0.2%</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>学習成果の発表の機会の確保</td> <td>77.2%</td> <td>22.4%</td> <td>0.2%</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>自主事業</td> <td>76.7%</td> <td>21.3%</td> <td>1.7%</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>74.9%</td> <td>23.1%</td> <td>1.7%</td> <td>0.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 利用者アンケート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>とても良い</th> <th>良い</th> <th>普通</th> <th>悪い</th> <th>とても悪い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設の学習環境</td> <td>71.1%</td> <td>25.5%</td> <td>2.9%</td> <td>0.5%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>施設・備品</td> <td>68.2%</td> <td>28.3%</td> <td>3.4%</td> <td>0.1%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>職員の対応</td> <td>73.6%</td> <td>24.1%</td> <td>2.3%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>71.0%</td> <td>25.9%</td> <td>2.9%</td> <td>0.2%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>				項目	満足	やや満足	やや不満	不満	ちばカレッジ	62.4%	32.0%	5.0%	0.6%	現代的課題学習	85.2%	14.5%	0.2%	0.1%	郷土に関する事業	81.3%	15.1%	3.5%	0.1%	指導者養成	66.1%	30.4%	2.5%	1.0%	学習ボランティア活動の支援	74.9%	23.3%	1.6%	0.2%	メディア学習講座	77.8%	19.9%	2.1%	0.2%	視聴覚事業(映画上映会等)	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	市民の学習活動への支援	77.2%	22.4%	0.2%	0.2%	学習成果の発表の機会の確保	77.2%	22.4%	0.2%	0.2%	自主事業	76.7%	21.3%	1.7%	0.3%	合計	74.9%	23.1%	1.7%	0.3%	項目	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	施設の学習環境	71.1%	25.5%	2.9%	0.5%	0.0%	施設・備品	68.2%	28.3%	3.4%	0.1%	0.0%	職員の対応	73.6%	24.1%	2.3%	0.0%	0.0%	計	71.0%	25.9%	2.9%	0.2%
項目	満足	やや満足	やや不満	不満																																																																																										
ちばカレッジ	62.4%	32.0%	5.0%	0.6%																																																																																										
現代的課題学習	85.2%	14.5%	0.2%	0.1%																																																																																										
郷土に関する事業	81.3%	15.1%	3.5%	0.1%																																																																																										
指導者養成	66.1%	30.4%	2.5%	1.0%																																																																																										
学習ボランティア活動の支援	74.9%	23.3%	1.6%	0.2%																																																																																										
メディア学習講座	77.8%	19.9%	2.1%	0.2%																																																																																										
視聴覚事業(映画上映会等)	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%																																																																																										
市民の学習活動への支援	77.2%	22.4%	0.2%	0.2%																																																																																										
学習成果の発表の機会の確保	77.2%	22.4%	0.2%	0.2%																																																																																										
自主事業	76.7%	21.3%	1.7%	0.3%																																																																																										
合計	74.9%	23.1%	1.7%	0.3%																																																																																										
項目	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い																																																																																									
施設の学習環境	71.1%	25.5%	2.9%	0.5%	0.0%																																																																																									
施設・備品	68.2%	28.3%	3.4%	0.1%	0.0%																																																																																									
職員の対応	73.6%	24.1%	2.3%	0.0%	0.0%																																																																																									
計	71.0%	25.9%	2.9%	0.2%	0.0%																																																																																									

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
空調で暑い、寒い	全館空調のため、個別にスポットクーラーや扇風機、ヒーターを提供した。
職員の説明が丁寧だった	より一層、接客対応の向上に努めた。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

<p>総括 評価</p>	<p>C</p>	<p>所見</p>	<p>市民の生涯学習の機会及び地域の交流の場を提供するとともに、総合的な生涯学習活動を支援することより、市民文化の向上、市民サービスの充実に努めた。 多様化する市民ニーズに対応した、生涯学習情報の収集・提供、各種学習相談、幅広い学習機会の提供、ボランティア等の学習指導者の養成など、多種多様な生涯学習活動を推進した。 Withコロナへの転換等により行動制限が緩和されたため、入館者数や施設利用件数等が大幅に増加した。 オンライン（ICT）の活用について、令和4年度も継続的に取組み、公民館との連携事業（オンライン配信の支援）を新規に実施したほか、「ボランティアセンター登録者紹介講座」では延受講者数の記録的な増加（前年度比5,315人増）を達成するなど、生涯学習支援の分野で大きな成果をあげることができた。 成果指標に係る数値目標の達成状況について、延受講者数と施設稼働率が未達成であることを踏まえ、今後も魅力ある講座・イベントの企画立案や広報活動の強化、オンラインの更なる活用など目標達成に向けて創意工夫を重ねていきたい。</p>
------------------	----------	-----------	--

(2) 市による評価

<p>総括 評価</p>	<p>C</p>	<p>所見</p>	<p>令和4年度も引き続きコロナ禍で、施設利用の制限(定員の1/2制限)を実施した影響などで、管理運営の基準に示す必須業務の一部中止や、施設利用者数の減少が発生したが、それらを除いては、市が指定管理者に求める水準等を上回る管理運営が行われていた。</p> <p>①生涯学習事業 コロナ禍で諸室の利用人数制限(6/9まで定員の1/2)があった中、成果指標である延べ受講者数35,000人は、29,043人と指標を下回ったが、ボランティアコーディネート件数が439件と成果指標285件を大幅に上回ったことは大きな成果である。</p> <p>②施設管理業務 コロナ禍で成果指標である施設稼働率60.0%は、55.3%と達成できなかったが、新たに夜間直前割引を開始し、市民サービスの向上に努めたこと、また、施設の安全性の向上や利用者の意見などに適切に対応したことを評価する。</p> <p>③維持管理業務 建築物・建築設備等の保守点検や修繕について、計画的に実施するとともに、突発的な修繕にも適切に対応した。</p> <p>④自主事業 民間事業者等と協力し、生涯学習センターの利用促進を図る講座を実施するとともに、市内大学等の公開講座を開催したほか、公民館と連携したオンライン講座を新たに実施するなど、市民の生涯学習活動を促進するための学習機会を提供した。</p>
------------------	----------	-----------	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 千葉市教育委員会指定管理者選定評価委員会の意見

<p>市による評価はおおむね妥当であると認める。 また、指定管理者の財務状況については、光熱水費、特に電気代の増額に注意が必要であるが、財務状況は良好であり、特段の問題は見られないことから、倒産・撤退のリスクはないと判断される。 その他、次の事項を本委員会の意見とする。 ア 引き続き、オンライン講座の充実により、利用者の増やサービス向上に努めるとともに、対面交流によるコミュニティ形成に資する取組を行うなど、講座の内容や対象者ごとに適した手法により、利用者サービスの向上につなげていただきたい。 イ 発達障害や食物アレルギーといった社会全体の理解が求められる現代的な課題学習について、館内ポスターの掲示など様々な周知活動が図られているが、関心のない方にも理解が浸透するよう、さらなる働きかけによる企画実施に取り組んでいただきたい。 ウ ボランティアコーディネート件数が目標を超える実績となるなど、成果が見られていることから、登録者と課題を抱える地域とのマッチングを行うことで、登録者の知識や技能を活用し、複雑多様化する地域の課題が解決されるよう、コーディネートが円滑に行われる場の充実・支援を図っていただきたい。</p>
